

● 上海ガニは「特定外来生物」に指定されています。

特定外来生物は、海外起源の外来生物で、生態系、人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼすもの、または及ぼすおそれがあるものの中から指定されます。外来生物法では、それらの外来生物を輸入・飼育・販売などを規制することで、外来生物による被害を防止することを目的としています。上海ガニは平成18年2月1日より「特定外来生物」に指定されています。

■ 飼育、栽培、保管及び運搬することが原則禁止されます。

※ 研究目的などで、逃げ出さないように適正に管理する施設を持っているなど、特別な場合には許可されます。

■ 輸入することが原則禁止されます。

※ 飼養等をする許可を受けている者は、輸入することができます。

■ 野外へ放つ、植える及びまくことが禁止されます。



中国では生きた上海ガニが販売されていますが、
生きたまま日本国内への持ち込みはできませんので、
ご注意ください。



● 違反したら……

個人の場合最高で、3年以下の懲役もしくは300万円以下の罰金、
法人の場合1億円以下の罰金が課されることがあります。

NO!



生きたままの

[シャンハイ]

上海ガニは 日本への持ち込みが 禁止されています。

请注意！在日本禁止 进口活的大闸蟹。

NO!

生きのままの
上海ガニは
日本への**持ち込み**が
禁止されています。

なぜ 持ち込み・輸入はいけないの？



上海ガニは、日本では中華料理の高級食材として人気が高いですが、日本のあらゆる地域に定着できることや、高い移動能力を持つことから、さまざまな被害が想定されます。日本の在来モクズガニに対し、生息地や餌をめぐる競合、交雑、病原菌の感染などの影響をもたらす可能性があり、生態系のバランスが崩れてしまうことが考えられます。



上海ガニ（チュウゴクモクズガニ）

- 学名：*Eriocheir sinensis*
- 原産地と分布：朝鮮半島西岸から中国沿岸部



上海ガニは中国を流れる大河を遡り、大陸のかなり内陸部に侵入し、大きな湖にも分布しています。さらに、人為的影響により地球規模で分布を広げています。

生態系に係る被害

- 近年、世界各地で繁殖し生態系に悪影響を与えています。移入した先で在来の無脊椎動物と競合しています。
- 原産地の中国では、養殖施設で病原菌（リケッチア）の感染による大量死が発生しており、日本に定着した場合も在来のモクズガニに感染する可能性があります。
- 飼育下の調査では、在来のモクズガニとの交雑が容易に行われることが報告されており、遺伝子の攪乱が心配されています。

- 土手などに巨大な巣穴（最大 2m、最大容積 1000cm³）を形成する習性があり、大発生時には河口部の堤防を侵食し、ヨーロッパ諸国、アメリカなどでは、沿岸域・淡水域の生態系に甚大な被害を与えたと報告されています。
- 淡水魚や淡水生無脊椎動物とエサをめぐる競合するため、ヨーロッパでは水生生物、イギリスでは在来の絶滅動物危惧種であるザリガニの減少要因になっています。

好吃！

上海ガニは、
中国か中華料理店で
お召し上がりください。

※ 中華料理店等は正規の手続きを経て輸入された上海ガニを取り扱っています。

